

## パーティション操作前の確認事項

パーティション操作をより安全に、効率よく行うために以下の項目をご確認ください。

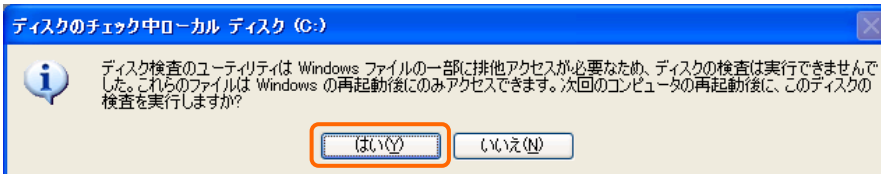
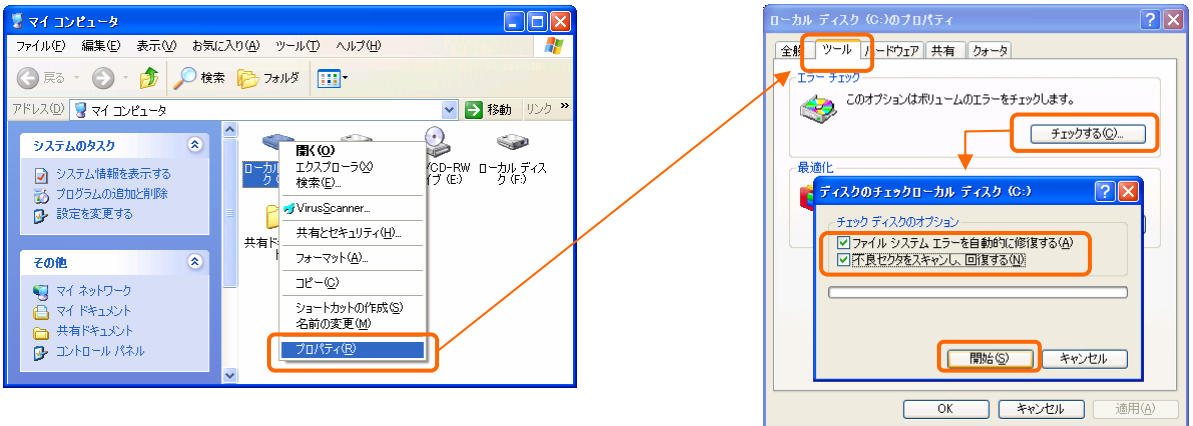
1. パーティション操作を行う**ドライブのエラーチェック**を実行してください。【必須】
2. 重要な**データのバックアップ**を作成してください。【必須】
3. **ドライブの最適化**(デフラグ)を実行してください。

### ドライブのエラーチェック【必須】

ハードディスクに不良セクタなどの問題が存在すると、パーティション操作中にエラーが発生して操作が正常に完了しない可能性があります。パーティション操作を実行する前には、**必ずドライブのエラーチェック**を実行してください。

#### 【Windows 2000/XP の場合】

対象ドライブのプロパティを表示して、「ツール」タブのエラーチェックを実行します。



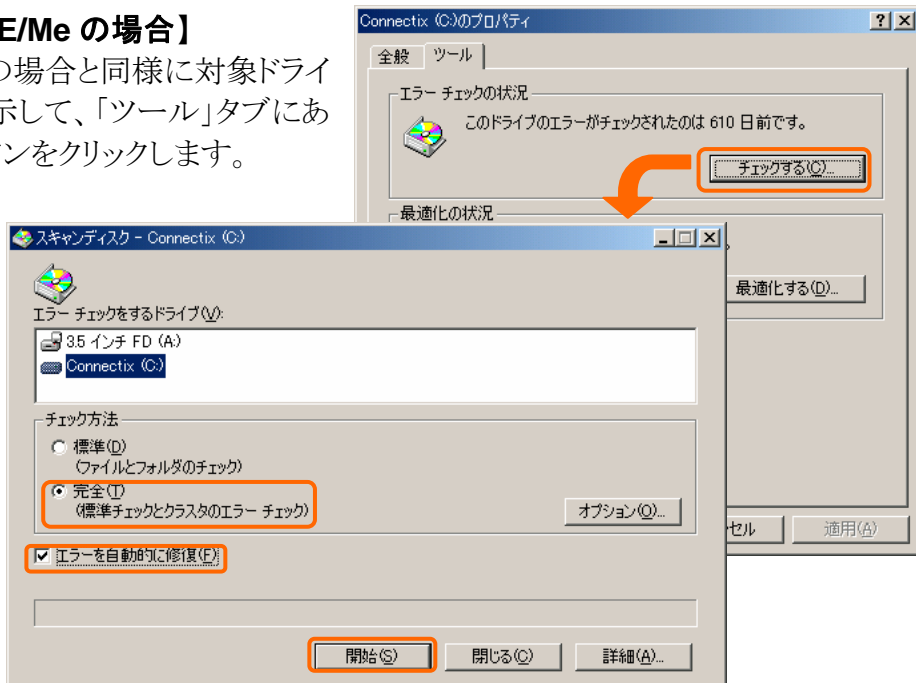
対象ドライブが使用中の場合には、Windows の再起動後にエラーチェックが行なわれます。「はい」ボタンをクリックして、システムを再起動してください。

エラーチェックの結果は、イベント ビューアのアプリケーション ログに記録されます。「ソース」欄に「Winlogon」と表記されている最新のログを表示して、イベントの説明に「Windows has checked the file system and found no problems」と記載されているか確認してください。この説明文が無い場合には、これが記録されるまでエラーチェックを繰り返してください。

## 【Windows 98/98SE/Me の場合】

Windows 2000/XP の場合と同様に対象ドライブのプロパティを表示して、「ツール」タブにある「チェックする」ボタンをクリックします。

「スキャンディスク」が起動したらチェック方法を「完全」に設定して「エラーを自動的に修復」をチェックした状態で「開始」ボタンをクリックしてください。



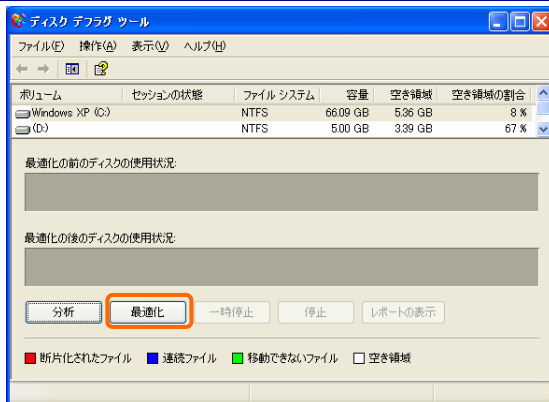
## データのバックアップ【必須】

パーティションコマンドー8 は、パーティション操作中の電源トラブルなどに対して、復旧するための安全対策も施されていますが、全てのトラブルに対応できるわけではありません。ハードディスクは高速回転する消耗品であり、物理的損傷が内在している可能性もあります。パーティション操作中の何らかのトラブルにより、OS が起動しなくなったり、ハードディスク上のデータが消失してしまったりする可能性が無いとは言えません。OS やアプリケーションは再インストールが可能ですが、お客様自身で作成されたファイル(ワープロ、住所録、家計簿、メール、写真など)は復元することができません。万一の場合に備えて、**重要なデータのバックアップを必ずお取りいただくことを強くお勧めします**。バックアップは、CD/DVD、MO、外付けハードディスクなどの外部メディアへ保存するようにしてください。

## ドライブの最適化

断片化しているハードディスクを最適化することで、パーティション操作時の処理が効率的に実行できるようになります。パーティション操作前にドライブの最適化を行うことをお勧めします。

ドライブの最適化を行うには、対象ドライブのプロパティを表示して、「ツール」タブの「最適化する」ボタンをクリックし、起動したデフラグツールの「最適化」ボタンをクリックします。

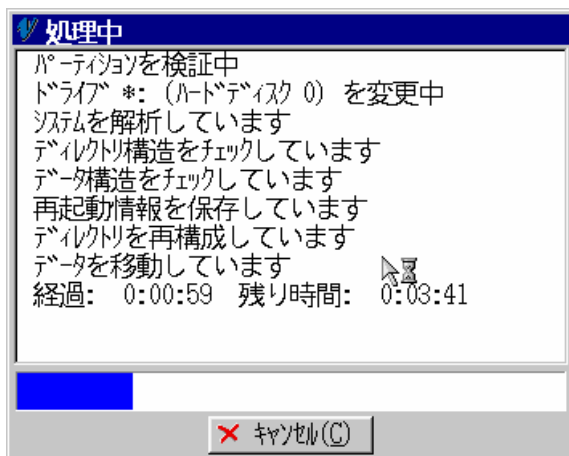


## パーティション操作中の注意点

### 【重要】パーティション操作中に電源を切らないでください

パーティション操作中には、マウスカーソルの反応が鈍くなり、システムがフリーズ(ハングアップ)したように見える場合があります。このような状態になった場合でも、ハードディスクのアクセスランプが点滅している間は、パーティション操作の処理が行われていますので、電源を切らないでください。やむをえず電源を切る場合には、ハードディスクのアクセスランプが消灯しているか、点滅していないことを確認のうえ電源を切るようにしてください。

また、パーティション操作の処理を強制的に中断することになりますので、データの移動中には「キャンセル」ボタンをできるだけ使用しないようにしてください。



## CD 起動して使用する

パーティションコマンドー8 は、インストールせずに製品 CD から直接起動して、「パーティション操作」を行うこともできます。

### ■製品 CD の起動方法

「パーティションコマンドー8」の製品 CD をドライブにセットして、システムを再起動すると自動的に CD-ROM から起動(ブート)します。



CD-ROM から起動(ブート)しないで、OS が起動してしまう場合には、BIOS 設定を確認してください。



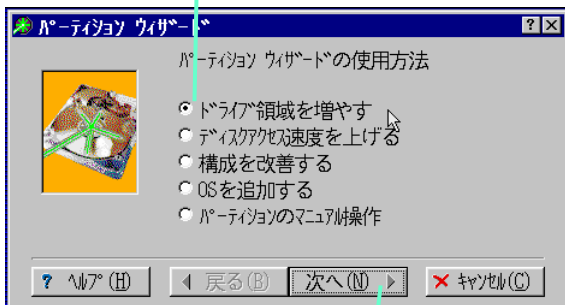
USB マウスをご使用の場合、BIOS 設定によってはマウス操作ができない場合があります。その場合には、BIOS 設定の Legacy USB Support などの項目を enable にしてください。キーボードで操作する場合には、TAB, ESC, スペース, ↑, ↓, Enter などが使用できます。

# Cドライブを大きくして、Dドライブを小さくする -パーティションウィザード

ハードディスクが2つ以上のパーティションに分かれている場合、あるパーティションは容量が不足しているのに、他のパーティションは余っている、という状況になることもあります。その場合は、パーティション間で容量を移動することができます。

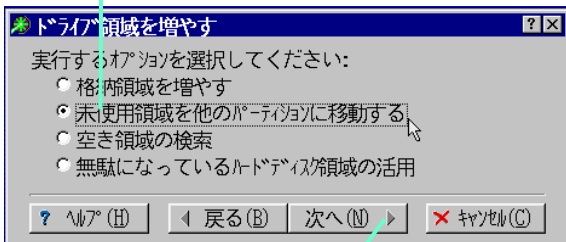
ここでは例として、パーティションウィザードを使用してDドライブの未使用領域をCドライブに移動し、Cドライブを大きくしてDドライブを小さくする手順を解説します。

①「ドライブ領域を増やす」を選ぶ



②「次へ」ボタンをクリックする

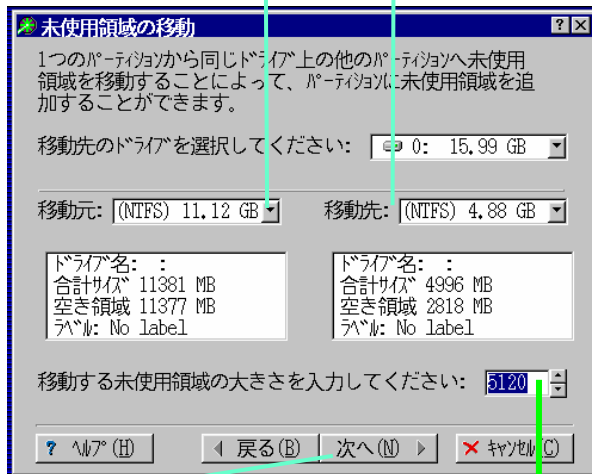
③「未使用領域を他のパーティションに移動する」を選ぶ



④「次へ」ボタンをクリックする

⑤ 移動元のパーティションを指定する

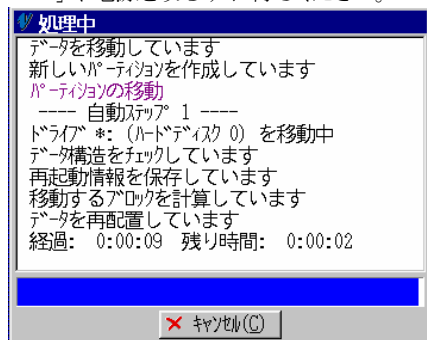
⑥ 移動先のパーティションを指定する



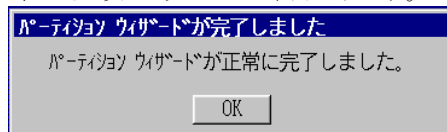
⑦ 移動する容量をMBで指定します。1GB=1024MBです

⑧「次へ」ボタンをクリックする

数工程を全て自動で行うため「処理」時間は長くなります。「キャンセル」や電源を切らずお待ちください。



移動が終わると次のメッセージが表示されます。



「OK」ボタンをクリックし、「スタート」から「終了」を選択して終了します。再起動されるのでCDを抜きます。再起動時にOSがチェックディスクを行った後にOSが起動します。

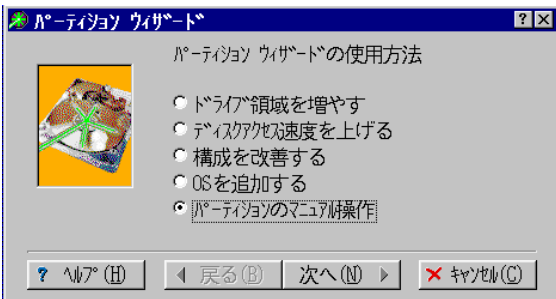
# Cドライブを大きくして、Dドライブを小さくする - マニュアル操作

パーティションの移動やサイズ変更などの操作を組み合わせ、ドライブ間で容量を移動することもできます。

ここでは例として、DドライブからCドライブへ容量を移動し、Cドライブを大きくしてDドライブを小さくする手順を解説します。なお、Dドライブは、拡張パーティションの中の論理パーティションである場合を例とします。

## Dドライブを小さくする

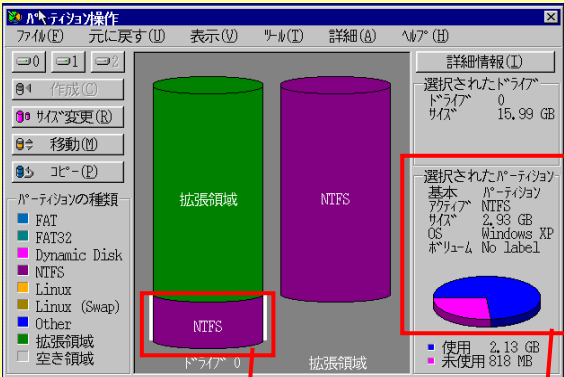
「パーティションウィザード」で「パーティションのマニュアル操作」を選択して「次へ」進みます。



「パーティション操作」画面が表示されます。

## ■ パーティション操作画面の見方

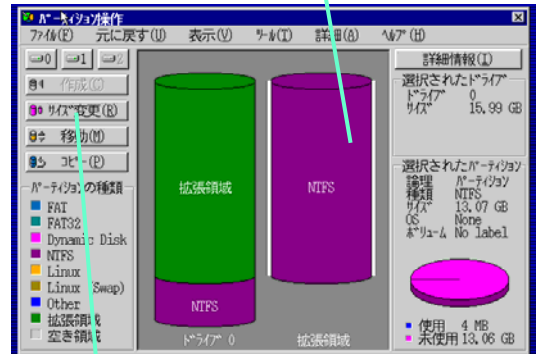
左側の円筒形下側が C ドライブ、右側円筒形「拡張領域」内が D ドライブです



選択されたパーティションの両端が白く表示されます。

パーティションの情報です。OS名があるところがCドライブです。

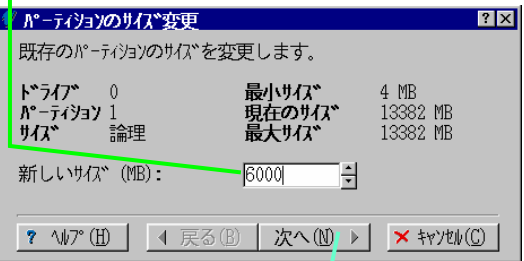
## ① Dドライブを選ぶ



## ② 「サイズ変更」をクリックする

## ③ 変更後のDドライブの容量を指定する

1GB=1024MB

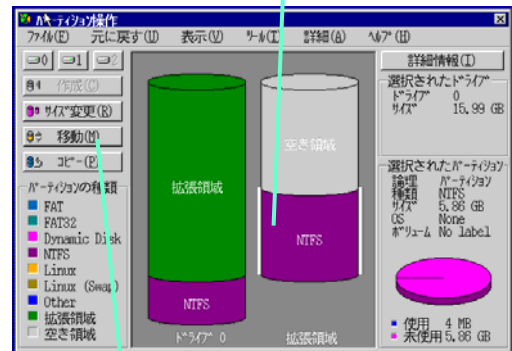


## ④ 「次へ」ボタンをクリックする

「処理中」と出て、サイズ変更にはしばらく時間がかかります。Dドライブが小さくなり、上側に「空き領域」ができます。

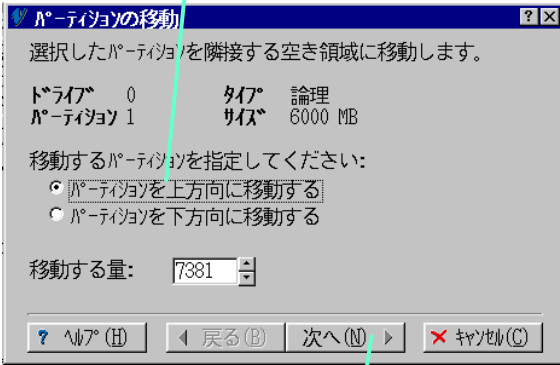
## 「空き領域」を移動する

## ⑤ Dドライブを選ぶ



## ⑥ 「移動」ボタンをクリックする

⑦「上方向に移動する」を選ぶ

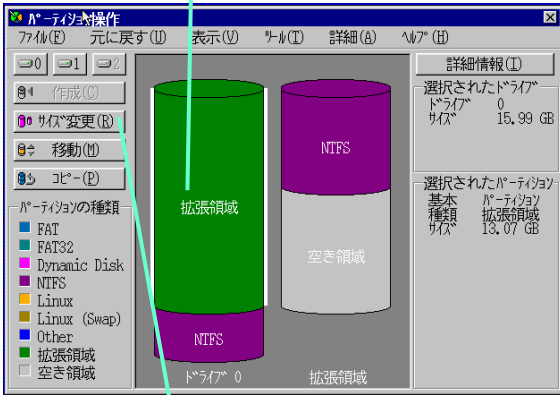


⑧「次へ」ボタンをクリックする

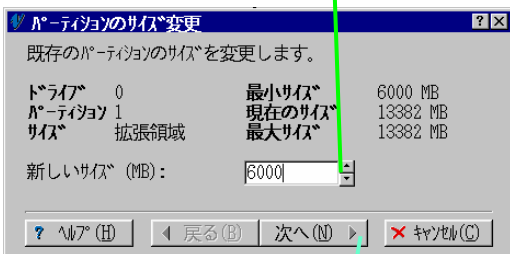
「処理中」と出て、「D ドライブ」の移動にしばらく時間がかかります。

## 拡張パーティションを小さくする

⑨「拡張領域」パーティションを選ぶ



⑩「新しいサイズ」として「最小サイズ」を指定する



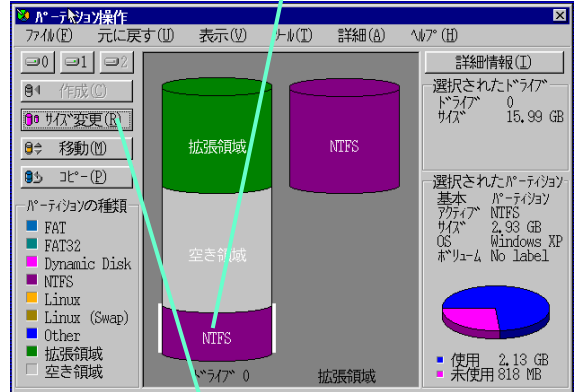
⑪「次へ」ボタンをクリックする

サイズ変更にししばらく時間がかかります。

## Cドライブを大きくする

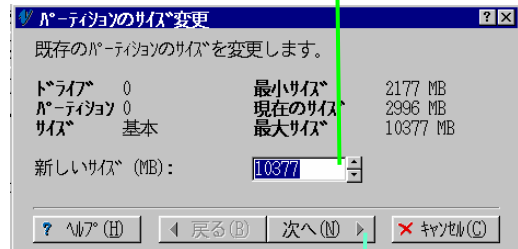
最後に、Cドライブの容量を大きくします。拡大したいパーティションの真上に隣接して「空き領域」がある場合のみ「サイズ変更」で拡大が可能です。

⑬Cドライブを選ぶ



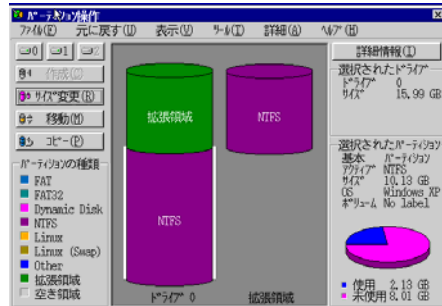
⑭「サイズ変更」ボタンをクリックする

⑮「新しいサイズ」として「最大サイズ」を指定する



⑯「次へ」ボタンをクリックする

サイズ変更にししばらく時間がかかります。



「スタート」から「終了」を選択して終了します。再起動時されるので CD を抜きます。再起動時に OS がチェックディスクを行った後に OS が起動します。